



2021  
SEPTEMBER

Vol.4

多摩ブルー・グリーン倶楽部 会報誌

Tama Blue & Green Club Magazine

# たまの力

INTERVIEW

P2

## トップリーダーに聞く

株式会社industria 代表取締役社長

高橋 一彰 氏

P3

## 新事業にチャレンジ

リプト株式会社 代表取締役

後藤 広明 氏

P4

## 事業承継を経験して

医療法人社団康明会 理事長

遠藤 正樹 氏

P5

## グローバル企業の最前線

株式会社ティービーエム 代表取締役社長

佐原 邦宏 氏

P6

## 地域貢献

株式会社ビーフェル 代表取締役

米崎 康正 氏

P7

## 倶楽部事業レポート



お客さまの幸せづくり  
たましん

# 世界各国の一流メーカーが industriaブランドを求める

身近な「困りごと」が  
社会貢献度の高い  
ものづくりへ

超複合加工技術と液体制御技術を中心に事業展開する株式会社 industria。主力製品は、水の流れだけで高精度にろ過できる産業用フィルター「FILSTAR」だ。この製品は「エレメントの交換不要」「産業廃棄物を出さない」など多大なメリットがあることから、トヨタ自動車や本田技研工業、東芝をはじめ、国内外の大手メーカーがこぞ導入している。

「地球環境負荷の低減」という、メーカーが抱える社会課題のクリアに貢献した同製品は、もはや「ヒット」という言葉には収まらない、必要不可欠なものになっている。その着想点はどんなことだったのか。

「ざっかけとなったのは、社内の工作機械の付属フィルターが頻繁に目詰ま

株式会社 industria  
代表取締役社長

たかはし かずあき  
**高橋 一彰**氏

埼玉県出身。大学卒業後、1995年に実父が創業した株式会社タカハシ(現在の株式会社industria)に入社。2006年に代表取締役社長に就任。



りし、メンテナンスに困っていた、という身近な問題でした。それならば目詰まりしないメンテナンスフリーのフィルターをつくらうと開発に着手したわけですが、その当時の自社にはフィルターや流体力学の知識がなく、発想・製作・実験・失敗・再製作・実験

とトライ&エラーを繰り返して、製品化までに4年を費やしました」と高橋一彰社長。開発後も大手メーカーに導入されるまでには様々なハードルがあったという。「自動車メーカーへの導入には、高精度と

エビデンスを求められましたが、どちらも達成する手段が一切なかったため、広島大学との産学連携により実現し、費用はNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の開発助成金を獲得・調達しました。その頃、当社は社員10名程度の零細企業で、会社・製品ともにブランド力に乏しく、このままでは取扱は厳しいと判断し、トヨタ自動車の工場への導入一本に絞って営業戦略を立てて臨みました」

この決断は功を奏し、プレゼンまでに半年、現場実証に9カ月の歳月を要したものの導入が決定。その実績によりブランド力が向上し、他の自動車メーカーからも次々と採用されたのだそうだ。

**一流メーカーとの  
共同開発で社員の  
モチベーションがアップ**

2003年の製品化以来、「FILSTAR」は累計5万本以上が出荷され、その展開は52カ国に及ぶ。同社の社会貢献度の高いものづくりは各方面で注目を浴び、様々な受賞・認定を受け、会社規模も拡大した。

「グローバルな一流メーカーが顧客となり、共同開発を重ねることで社員の誇りややりがいも生まれたと思います。今後も世界各国のトップ企業への導入を促進させるとともに海外ブランドを増やし、industriaブランドをさらに向上させたい」と語ってくれた。

## 社長のひとこと

顧客からの様々な要求や指摘に応じていくなかで、一流の品質、一流の思考を身につけられたことが社員のモチベーションはもちろん、開発から製造、出荷に至る全プロセスを向上させていったと思います。

## 第2回多摩ブルー賞 最優秀賞受賞

株式会社 industria

<https://industria.co.jp>

埼玉県入間市宮寺2700

TEL:04-2934-8501 FAX:04-2934-8500

E-mail:kaz@industria.co.jp

●創業:1991年6月 ●従業員数:65名(2021年8月末現在)



# 医師たちの「あったらいいな」を実現！ “密状況”をアラートし 感染予防をサポート



リプト株式会社

代表取締役

ごとう ひろあき  
**後藤 広明**氏

大分県出身。大学卒業後、1996年にオリンパスに入社し、医療機器開発やマーケティングなどに携わる。2007年に退社し、同年、リプト株式会社を設立。

## コロナ禍において負担の大きい 医療従事者と施設利用者の 安心・安全を支えるサービス

医療系ベンチャー企業のリプト株式会社は、施設内の混雑状況をホームページで発信するシステム「混雑アラート」をパートナー先と協同開発した。

同サービスは施設や店舗のホームページに信号機のアイコンを埋め込み、赤・青・黄で混み具合を表現。ホームページに大がかりなシステムを組み込む必要はなく、その部分のみ更新できるというもの。手頃な価格で利用できる手動型と、業務効率を重視した自動センサー型があり、カスタマイズなども行う。

未だ収束の見えないコロナ禍で、利用者が自宅にいながら店の混み具合を知ることができ、密を避けられるこのシステムは、感染予防に大きく役立つ。しかし、医療機器メーカーである同社が、なぜ医療とは直接関係のないサービスの開発に至ったのか。後藤広明社長はこのように語る。

「混雑アラートは日頃お世話になってる医療従事者の不安と負担に対して、医療機器メーカーとしてできることを考えた結果、生まれたサービスです。施設や店舗の混雑を回避できれば感染は抑えられ、結果的には医療機関の負担を軽減することに繋がります」

先般行われた都議選では8カ所の期日

前投票所で同サービスが導入された。その折はCO2センサーによる混雑時の換気状況のモニターも行い、感染予防対策の効果を「見える化」し好評を得た。

同社はほかにも、紫外線を用いた照射装置も開発・提供している。この製品は、コロナ陽性の患者が触れたベッドや壁、トイレなどをピンポイントで紫外線照射し、そこに付着したウイルスを不活化できるため、患者や医療スタッフに安心をもたらしている。

## 他企業とのコラボレーションで スピーディーに開発・提供

日本では医療機器ベンチャーが育ちにくいといわれる中、同社は大企業が手を出さないニッチ領域や顕在化していない潜在市場に対し、果敢に取り組んでいる。

「私たちはユーザーや社会のニーズに応える形で製品やサービスの開発・提供に尽力しています。いわば常に新しいことにチャレンジをしている状態ですが、混雑アラートのように自社だけでは実現できないことも、他の企業とのコラボレーションによって、短期間で開発することが可能になります。多くの企業と連携することで新しい気づきや出会いがあります」と後藤社長。持ち前のチャレンジ精神で現代の医療業界を支えている。

## 社長のひとこと

モットーは「医師たちのあったらいいな……をカタチにする」。この思いを胸に、常に最新の技術に関心を持ち、手を出しにくいテーマにも損をしない限りは真摯に取り組む尖ったエンジニア集団として頑張っていきます。

第11回多摩ブルー賞 優秀賞受賞

リプト株式会社

<https://livet.jp>

東京都八王子市明神町4-9-1-301

TEL:042-649-3491 FAX:042-649-3492

E-mail: info@livet.jp

●創業:2007年12月 ●従業員数:5名(2021年8月末現在)





医療法人社団康明会  
理事長

えんどう まさき  
遠藤 正樹氏

神奈川県出身。大学卒業後、ソーシャルワーカーとして病院に就職。その後、東京医科大学八王子医療センターを経て、1998年に医療法人社団康明会に移り、病院事務長を経て2016年に理事長就任。

患者さん、その家族、医療・介護・福祉従事者に寄り添い

「人」を中心に据えた医療経営を実践

はじまりは  
ソーシャルワーカー  
親族外事業継承で理事長へ

医療法人社団康明会の遠藤正樹理事長は、2016年に先代から事業を承継した。康明会は病院やクリニック、訪問事業、通所事業など、医療・介護サービスのグループ団体であるが、遠藤理事長は医師ではなく、先代の親族でもない。事業を引き継ぐ1年前、前理事長から申し出があり引き受けた形だ。

「康明会に入職する前、私は医療ソーシャルワーカーとして、苦悩する患者さ

んとご家族に日々向き合ってきました。その渦中では多くの病院の理事長や院長から経営や組織運営について相談を受けることも数多くありましたが、その

ような機会をいただくことにも意味があると考え、医療経営関連や経営学の書籍を読み、自分にできる限り応えてきました。康明会入職後は事務長として働き、患者さんにとってよい医療の提供に尽力するとともに、医師である前理事長のご子息が苦勞しないような組織へ成長させることを考えていましたので、自身に事業継承の話があったときはまさに晴天の霹靂でした」と話す遠藤理事長は、長寿国日本にとって「医療と介護・福祉サービスの統合が不可欠である」と確信していたとも語る。

DX化、AIやロボティクス導入  
そんな時代だからこそ  
「人にできることはなにか」を  
常に考える

現職に就任後、遠藤理事長が目標に掲げたのは「患者中心の医療経営」。何にお

代だからこそ、いかにして人を中心に据えた医療サービスを提供できるかが問われている。

「人間が患者さんにできることは何かを常に考えながら、真のホスピタリティを実践する組織へ、同志とともに歩んでいきたい」と遠藤理事長。

また、世界的パンデミックの最中、医療従事者の負担は計り知れない。今後、社会保障政策の矛盾と対峙することにもなるだろう。

「非医師である私こそが、志と使命感を語り続けることが大切だと思っています。そして、働く職員の命と生活と雇用を守り抜くこと。最前線で闘う医療・介護・福祉従事者に寄り添い、少しでも職員が働き甲斐を持ち、仕事に楽しさになるような職場環境を創ることを経営者として実践していきたい」

病氣と向き合い治療に尽力する「医療の視点」だけでなく、病氣を抱える人の暮らしや家族、その精神的な負担とも向き合う「ソーシャルワーカーの視点」、さらに疲弊する医療従事者のそばに立ち、支え続けることが、今求められている。

#### 理事長のひとこと

素晴らしい企業、志や使命感から生まれた商品やサービスなど、多摩ブルー・グリーン賞の存在なくしてはなかったと思います。最澄の言葉「一隅を照らす、これ国宝なり」を象徴するような方々と一緒にできることがあれば、ぜひお声かけをお願いいたします。

#### 第8回多摩グリーン賞 最優秀賞受賞

医療法人社団 康明会  
<https://www.komei-mc.or.jp>

東京都日野市豊田2-32-1  
TEL:042-584-5274(本部事務局直通)  
FAX:042-584-5260  
E-mail:endo@komei-mc.or.jp  
●創業:1950年9月 ●従業員数:360名(2021年8月末現在)



# 水を守りグリーン電力を生みだす! 脱炭素とSDGsに直結する 新たな環境インフラに 世界が注目

株式会社 ティービーエム

代表取締役社長

さほら くにひろ

佐原 邦宏氏

福島県出身。日本能率協会のコンサルティング部門入社。現場改善、営業力強化、人事評価や賃金制度の再構築などの企画&推進に従事。1999年株式会社ティービーエムを設立。



## 排水油脂からグリーン発電 ソリューション型 環境ビジネス

日本全国の飲食店から年間31万トンほど発生する排水油脂は、河川などに放流すると深刻な水質汚濁の原因となり、下水に排出すると下水管の詰まりや悪臭などを

引き起こす原因となるため、産廃処理の扱いとなる。

株式会社ティービーエムはそうした社会課題解決の一助となる「フード・グリーン発電システム」を開発。飲食チェーンや食品工場など食関連施設の水質浄化を行い、その過程で分離回収した油脂を原料に発電するという画期的なシステムだ。

環境保護に大きく貢献するだけでなく、導入した食関連施設は汚泥発生の削減、排水油脂の価値買取、管理コストの低減など数々のメリットが得られる。

「当社は創業以来、『水を守る』ことに軸足をおき、飲食店の厨房排水や食品工場の製造排水などの浄化装置と管理サービスを提供してきました。浄化のポイントは油分の『分離と回収』ですが、回収した油分を研究したところ資源化できることに気づき、当社独自の方法でA重油代替燃料にすることができました。さらに、東日本大震災に端を発する電力の自由化に鑑み、グリーン電力を供給できればより大きな社会貢献が可能になると判断し、発電用燃料へのバイジョンアップとフード・グリーン発電システムの開発に取り組ましました」と佐原邦宏社長。

開発には経済産業省関東経済産業局およびNEDO(国立研究開発法人新工

ネルギー・産業技術総合開発機構)の補助事業を活用したのだという。

## 脱炭素&SDGsを 地域ぐるみで具体化する モデルを創り出す

「フード・グリーン発電システム」は、画期的な脱炭素事業として注目され、国内外で注目を浴びている。数々の賞を受賞し、ポーランドで開催された「COP24国連気候会議」をはじめ、各所で日本の代表実例として紹介されている。海外からの視察や協力要請も多い。大手飲食チェーンの導入も相次いでいる。

「日本全国の未利用油脂の年間賦存量は、飲食店や食品工場、一般家庭を合わせると100万トンと推計できます。これらを資源とし、地域ごとにフード・グリーン発電システムを実装することにより、最大372万トンのCO2削減が見込めます。自治体、市民、地元企業など地域ぐるみでサーキュラーエコノミーを具体化する新しい環境インフラになります」と佐原社長。

同社は日本最大級のバイオ発電ができるフード・グリーン発電車も開発し、自治体主催のイベントなどに出動させ、グリーン電力を供給。また自治体と連携し、地域内にフード・グリーン発電所開設も進んでいる。

第16回多摩ブルー賞 優秀賞受賞

株式会社 ティービーエム  
<http://kankichikun.com>

埼玉県所沢市三ヶ島5-1586

TEL:042-941-6041 FAX:042-941-6046

E-mail:info@kankichikun.com

●創業:1999年9月 ●従業員数:5名(2021年8月末現在)



### 社長のひとこと

脱炭素社会に向けて、当社の「フード・グリーン発電システム」の社会実装を目指しています。技術&製品開発は引き続き行い、他の中小ベンチャーとも力を合わせて、より大きな社会貢献ができる形にしたいですね。

終末期をおしゃれにポジティブに！

## 訪問理美容サービスがサポート

感染症リスクの高い  
利用客に安全・快適に  
サービスを提供する

高齢の方、病氣や障がいを抱える方などを対象に、訪問理美容サービスを提供する株式会社ビーフェル。訪問先は老人ホームや障がい者施設、病院はもちろん、依頼があれば個人宅へも足を運ぶ。サービスも通常の理美容メニューのほか、エステティッ

クサロン、ネイルサロンで行うサービス全般を提供。場所もサービスも多岐にわたり、一般的な美容サロンがそのまま利用者を訪問するというスタイルだ。

「私たちが対象とするお客さまは、身体的・精神的にハンディキャップがあるため、介護の知識・技術の資格を取得した理美容師が施術を担当します。当社開発のシャンプーユニットシステムにより、歩行困難な方や視覚障がいのある方なども安心・安全・快適にシャンプー、ヘッドスパなどの提供が可能です。特にコロナ禍の今、お客さまは感染症リスクが高い方がほとんどですから、当社独自の感染予防マニュアルを作成し、社員全員に周知徹底しています。施術中は心地よい音楽をかけ、四季折々の花を飾りアロマの香りが漂う中で、サービスを提供させていただきます。と米崎康正社長。

多くの人が高齢になるにつれて美容やおしゃれから遠ざかってしまう。人生の終末期を迎える人はなおさらだろう。しかし、同社サービスを利用した人々は「気持ちいい」「うれしい」「楽しい」と笑顔になり、ポジティブに生きる意欲を取り戻すのだそう。

「人生100年時代」の今こそ  
QOL向上を後押しする  
ビジネスが求められる

米崎社長は美容学校を卒業後、大手美容室でスタイリストとして働いた後、一度美容業界を離れている。その社長がなぜ、この会社を立ち上げたのかを聞く、このように答えてくれた。

「会社設立前の5年間、大手の訪問介護サービス事業所に勤めていました。食事や入浴の介助、寝たきりの方の清拭などを担当する中、理美容室へ行くことをあきらめている方がなんと多いことかと気づきました。私は自分が美容師であることを伝え、寝たきりの方や車いす生活の方の髪をカットすることもあり、みなさんに大変喜んでいただき、大きなやりがいとこの仕事の重要性を感じたのです」

現在、同社は毎月100の施設を定期訪問し、利用客は1500人に上る。「人生100年時代」といわれる今、加齢や病氣と向き合い、付き合いながらも楽しく暮らす術が求められる。そんなとき、同社の提供するサービスは、間違いなくQOL向上につながるのではないだろうか。

第12回多摩グリーン賞 優秀賞受賞

株式会社 ビーフェル  
<https://bea-fel.com>

東京都武蔵野市吉祥寺北町2-16-7 アンブレッジC  
TEL:0422-27-5730 FAX:0422-56-5626  
E-mail:2832yy@bea-fel.com

●創業:2006年5月 ●従業員数:8名(2021年8月末現在)



どこでもシャンプー

社長のひとこと

当社サービスをご利用になるお客さまには、長い時間は残されていません。だからこそ、一期一会の気持ちで最善のサービスを提供することを心がけています。まだ知名度の低い仕事ですが、責任の重い、やりがいのある仕事です。

# Tama Blue&Green Club Business Report 倶楽部事業レポート

多摩ブルー・グリーン倶楽部は、多摩ブルー・グリーン賞受賞企業と選考委員、後援団体による組織です。

受賞企業の経営課題の解決と相互連携および地域経済の振興を目的に、事業を通じて会員相互の連携を深めます。

2021年度に実施した事業の一部をご紹介します。

## 1 経営者向けセミナー

企業経営の基盤強化を支援するため、外部機関との連携によるセミナーとワークショップを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにて実施しました。

### Day:1 マーケティング DX

2021年6月3日

インキュデータ株式会社にご協力いただき、DX推進に向けた戦略の策定方法などについて、またホットマン株式会社坂本社長にパネルディスカッションにご登壇いただきました。



### Day:2 イノベーション

2021年7月2日

東京都立大学にご協力いただき、楊教授より「産学連携を通じたイノベーション」についてご講演いただきました。

続いて、柴田部長による「産学連携の勘どころ」についてのワークショップにおいては、Zoomのホワイトボードを活用した講師と参加者との意見交換の中から、企業と研究機関の継続的な交流の必要性などが活発に議論されました。

## 告知 「ガバナンス」開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催を延期していました「ガバナンス」を9月29日(水) 15:00に開催いたします。ぜひともご参加ください。詳細は、倶楽部ホームページよりご覧ください。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止や延期となる場合があります。



## 2 多摩大学「学生による会員企業レポート」(第1ターム)

会員企業の相互理解・連携を促すことを目的に、多摩大学の学生が企業を訪問・取材し、企業の魅力を発信する紹介レポートを制作するプロジェクトを実施しました。

本プロジェクトを通じて、多摩大学生は多摩地域の産業や企業に関する知見を得るとともに、取材・記事作成を通じて、企画、情報の収集、分析、編集、表現等の方法を学びます。また、会員企業との接点をつくることで今後のキャリア形成に対する意識醸成も図ります。なお、本プロジェクトの第2タームとして、今後、3社の会員企業の取材等を予定しています。

2021年6月15日

〔 特定非営利活動法人  
くにたち農園の会 〕



2021年6月22日

〔 日本リニューアル  
株式会社 〕



2021年7月5日

〔 株式会社  
ツインキールズ 〕



2021年7月7日

〔 株式会社キャリア・ママ 〕



3

## 若手従業員向けセミナー 「次世代ネットワーク構築プログラム」(第2期)

会員企業の従業員(2年目～5年目程度)を対象として、『リーダーシップ』をテーマにした連続プログラム(3回)を開催しました。32名の参加者は、オンラインプログラムを通じて、知識習得と参加者間のネットワーク形成を図りました。



**日時** ① 6月11日(金) ② 6月25日(金)  
③ 7月20日(火) すべて14:00～17:00

**講師** 中村 成博氏 (なかむら まさひろ)  
株式会社Gentle 代表取締役

2015年10月株式会社Gentle 設立。  
講演や研修、コンサルティングを通して、  
「悩みの解決や行動革新のキッカケ」を提供。

### 参加者の声(抜粋)

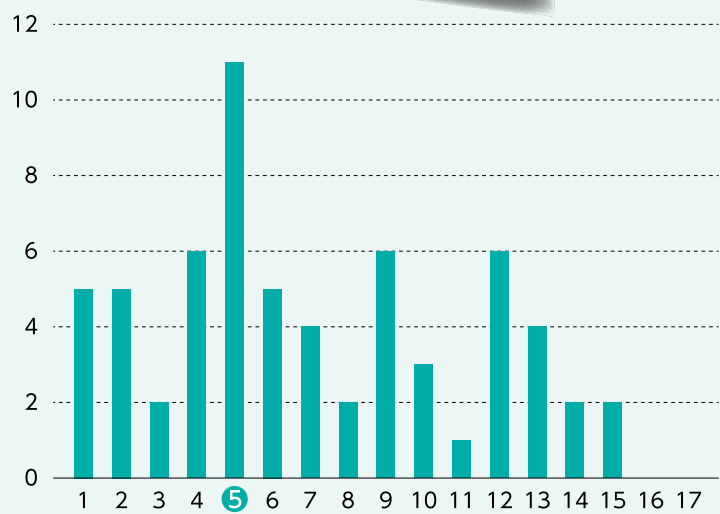
- 自分に必要なことややるべきことがわかりました。結果を出せるように継続して取り組みたい。
- 人材育成の基本は「育てようとする」ではなく「自分が成長している姿を見せる」これほどにも心に響いた。
- 自分の知識を増やし、いつでも相手に感謝の気持ちを忘れずに意識して仕事をしていきたい。
- グループミーティングで他業種の方々と意見を交換できた事が非常に良かった。
- リーダーシップの真価を高めていく為、今後仕事仲間への敬意と信頼、感謝を持ち続け 業務に当たっていききたい。自分にとって大変成長に繋がるポイントが多くあった。
- 意識の変え方・考え方がよくわかる講義であった。
- 自分で立てたアクションプランを継続していくことこそが重要である事を学びました。
- クレーム対応については、対処法ではなく「意識づけ・心構え」という、他では学ぶことができない内容であった。

### 参加者の興味のあるテーマ

今回の「次世代ネットワーク構築プログラム」を検討するために、興味のあるテーマを選んでいただきました(複数選択可能)。自身の内面の成長を目指すテーマなどに関心が高いことがわかりました。今後も、会員企業のさらなる成長を担う若手従業員向けの取組みを実施していきます。

1. アイデアの出し方・新事業開発(SDGsからのビジネスアイデア創出)
2. プロジェクト・マネジメント
3. 与信管理(情報収集、定性・定量・商流分析、評価)
4. 顧客(社外)とのコミュニケーション・交渉力
- ⑤ 意識・習慣を変える方法(「無意識バイアス(無意識の偏見や思い込み)」を適切に理解する)
6. 会議が楽しくなる!ファシリテーション
7. 良書から学ぶ!教養力
8. ビジネスに役立つ心理学
9. メンタルヘルス(自分を理解し、受け入れる)
10. 社会人基礎力【接遇・ビジネスマナー】
11. 社会人基礎力【財務・会計スキル】
12. 社会人基礎力【PCスキル】
13. 社会人基礎力【プログラミングスキル】
14. メガトレンドシリーズ【AI/RPA(人工知能/ロボットによる業務自動化)】
15. メガトレンドシリーズ【DX(デジタル革命)】
16. メガトレンドシリーズ【カーボンニュートラル・グリーン成長】
17. その他(自由記入欄)

### 興味のあるテーマ



(2021年7月20日実施分アンケートより作成・アンケート対象者27名のうち回答者26名) 以上